

インドネシアルピアについて

中川 智明

昨年は私のレポートを大切なお時間を割いて読んでくださり、お礼申し上げます。引き続き、本年もよろしくお願いいたします。

今回は、毎年年末年始になると聞こえてくインドネシアルピア (IDR) の今後の動きについて、2019 年の見通し等も含めてコメントしてみます。実際の為替レートの動きは様々な要因で生じますので、このレポートは私の私見を含んでいることをご承知おきください。

<インドネシアルピアの動き:2018 年実績>

2018 年は、1USD に対して 1 月に 13,265IDR の最高値を付けてから、10 月に 15,270IDR の最安値を付けるまで、継続的に IDR 安傾向で推移しました。11 月 12 月に多少戻したものの、2018 年初めと比較すると 2018 年 12 月時点でも大きく IDR 安に振れたままの状態です。

<インドネシアルピアの動きの要因>

一般的にインドネシアルピアの変動の要因としては、

- ① 経常赤字
- ② 海外直接投資
- ③ 証券投資
- ④ 中銀介入

等が言われるところです。インドネシアは石油製品の純輸入国ですので、2018 年は原油高により経常収支が悪化しました (①の悪化)。また、米国金利上昇や米中貿易摩擦の影響で、海外投資家の資金流出が起きました (③の低下)。これらの要因で、インドネシアルピアが安くなったと言われています。

<インドネシアルピアの

2019 年の動きの予想>

2019 年についても、これまでの流れが大きく変わることはないというコメントが一般的に多いようです。米国の金利引き上げ傾向や原油相場等の影響による経常収支の動きや、大統領選挙の影響による投資の傾向等が影響

すると言われていますが、これらの状況が大きく反転するというよりは、これまでの流れが維持されるというような印象のコメントが多いです。

<インドネシアルピアで

ビジネスをする者として>

基本的に USD と IDR を持っておりますが、弊社は輸出や輸入をする会社でもありませんので、影響が無いわけではないものの、あまり為替変動への対策はできていません。当地の日系企業でも、為替予約等の金融商品を買って対応している会社は少ないと思います。

<年末年始のインドネシア寸景>

年末は、常夏の国インドネシアでもクリスマスムードです。この写真は、先月、クリスマス会をしたホテルのエントランスの写真です。イスラム教の国で、雪は降りませんし気温もいつも通り高いのですが、クリスマスツリーやサンタクロースが飾られます。私には少し違和感がありますが、インドネシア人も日本人と同じように、楽しい習慣を柔軟に海外から取り入れているようです。

ちなみに、年末年始、インドネシア人はクリスマスと正月 1 日しか休みません。

